



国立大学法人  
豊橋技術科学大学

# IT食農だより

発行元：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所：〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL: 0532-44-6655 FAX: 0532-81-5108 E-mail: manager@recab.tut.ac.jp

2022年2月15日

No.84

**東海地域の6次産業化推進人材育成 第10期生修了式が行われました！**



東海地域の6次産業化推進人材育成第10期生  
修了式集合写真(2022年1月21日)

**加藤 茂 社会連携推進センター  
長式辞**

2022年1月21日(金)に「東海地域の6次産業化推進人材育成」第10期生の修了式が行われ、修了生13名に修了証書と「6次産業先導士」の称号が授与されました。また、答辞は修了生代表中神ルミ子さんにより述べられました。(文責：水鳥絵理)

本日、修了されました皆さん、おめでとうございます。

今年度もコロナ禍で何かと不自由な日々が続きましたが、受講生の皆さんの新たな学びへの好奇心と、それを達成するための継続的な努力の結果、本日、この修了式を迎えられました。

皆さんは、この東海地域の6次産業化推進人材育成プログラムの10期生となります。このプログラムは、2019年度より文部科学省の職業実践力育成プログラム(BP: Brush up Program for professional)に認定され、国家戦略・プロフェッショナル検定のひとつである「食の6次産業化プロデューサー」のレベル3への認定申請も可能なプログラムであるとともに、本学が修了生に「6次産業先導士」の称号を授与する履修証明プログラムでもあります。皆さんはその職業実践力育成プログラム、履修証明プログラムの3期生でもあります。

この大変有意義なプログラムを運営するにあたりましては、豊橋市様、および近隣市町である田原市様、豊川市様、蒲郡市様、新城市様にご協力、ご支援いただいております。また、イノチオホールディングス様、サイエンスクリエイト様、サーラコーポレーション様、大仙様、トヨタネ様、豊橋信用金庫様、本多電子様などこの地域の多くの企業様からも多大なるご支援、ご協力を頂いております。この場をお借りして、感謝申し上げます。

今年度、このプログラムでは4か月間という短い期間に、合計99時間もの教室講義、eラーニング、研修と多岐にわたる内容について集中的に取り組んでいただきました。特に、9、10、11月の3か月間は、毎週末90分講義が4つ行われるという非常にハードなスケジュールでした。講義を受けるだけでなく、課題レポートの提出もあり、相当大変だったと思います。ですが、今年度は現役の大学生の方が参加され

たことで、昨年度までのプログラムとは少し様子、雰囲気異なると聞いております。幅広い年代の受講生と一緒に学び、自分とは異なった視点からの考えや意見を聞くことができたことは、新たな発見や好奇心、学びへのモチベーションに繋がったことではないでしょうか。残念ながら、私は12月に開催されましたビジネスプラン発表会には参加できませんでした。しかし、様々な視点で新たなビジネスが考えられており、審査員の先生方からは厳しい質問や今後に繋がる励ましのコメント等を、多数、頂けたと聞いております。「6次産業先導士」として、皆様のアイデアやこのプログラムで学んだ知識を活かして、社会をリードするようなビジネスに挑戦していただければと思います。今回のこのプログラムでの経験が、みなさんの今後の活動にプラスに働くことを願っております。

本日の修了式は、本学が提供しましたプログラムによる皆さんの学習プロセスが一区切りつくことに過ぎないと思っております。こういった人材育成事業は、そのプログラムを修了された皆さんが、今後、どのように活躍されるかが重要です。

このプログラムも含めて、先端農業・バイオリサーチセンターでは複数の人材育成事業を実施しており、それらの修了生が主体となって「IT農業ネットワーク」を形成しておられます。現在、その会員数は580名を超えるほどになっております。皆さんも、是非このネットワークに参加していただき、多くの仲間を得ることで、益々、研鑽を積まれ、ご活躍いただけることを心より願っております。

最後に、一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、平穏な日々が訪れるとともに、修了生の皆さんの今後のご活躍を祈念して、私からの式辞とさせていただきます。

## ニューファーマーサポートコースの修了式が行われました！



ニューファーマーサポートコース  
修了式集合写真(2022年1月25日)

2022年1月25日(火)に「ニューファーマーサポートコース」の修了式がオンラインで行われ、32名に修了証書が授与されました。伊藤正澄氏と中内田明子氏に「優秀成績賞」が、川西志津氏に「最優秀成績賞」が授与されました。式辞後、修了生を代表して川西氏が答辞を述べられました。(文責・田中加奈子)

## 浴 俊彦 先端農業・バイオ リサーチセンター長式辞

本日、リカレント教育プログラム「ニューファーマーサポートコース」を修了されました32名の皆様、おめでとうございます。また、日頃、当センターの人材育成に多大なるご支援、ご協力を頂き、先ほど修了生への温かい励ましのお言葉を賜りましたご来賓の皆様、深く御礼申し上げます。

さて、本学、先端農業・バイオリサーチセンターでは農業に関する社会人教育プログラムを15年に亘って実施しております。今年度は、文部科学省の「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」への本学の申請が採択され、コロナ禍における農業への就業支援を目的に、単年度事業として「ニューファーマーサポートコース」を初めて実施致しました。実質5ヶ月間で土日を中心とした、39時間の講義、29時間の視察研修と就労演習、合計68時間のプログラムを履修されることは大変であったかと思えます。また夏から秋にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響で視察が遠隔での実施となりましたが、期間の後半では実際に農業現場での実習を行い、当初の履修計画を実施できて、今日の修了式を迎えることができたことをうれしく思います。さて、この事業が立ち上げられたきっかけにもなりますが、この

2年間のコロナウイルス感染拡大は社会を大きく変えつつあります。この事業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、雇用構造の転換が進展する中で、新たな能力を身に付け、自己のキャリアアップを図り、実際の就職までつなげて頂くため、現在求職中の方々の支援を目的に、文部科学省により始められたものです。この事業は担当する大学のほか、地域の自治体、企業、ハローワーク等と連携して実施されています。

このニューファーマーサポートコースも、本学の先端農業・バイオリサーチセンターに加え、本プログラムの趣旨に賛同された、愛知県、豊橋市、田原市、豊川市、蒲郡市、新城市の自治体様、また豊橋信用金庫、株式会社サテラコーポレーション、株式会社アグリトリオ、イノチオホールディングス株式会社、トヨタネ株式会社、株式会社大仙等の地元企業様、地元のJJA様、ハローワーク様等より、講師の派遣や演習等で多大なるご協力とご支援を受けて実施されました。本プログラムの修了式を迎えるにあたって、改めて、これら関係者の皆様方に深く御礼申し上げます。

これから修了生の皆様は、農業に関わる職に就かれ、活躍されるわけですが、近年、農業者の高齢化など農業を取り巻く環境は年々厳しいものになっていくように感じます。加えて、今回のコロナ禍で、農業に限らず社会全体が厳しい状況へと落ち

込みました。しかしながら、ワクチンや治療薬の登場により、これからはウイルスと共生しながら徐々に上昇への明るい兆しが見えてくるものと思います。このような時期だからこそ、皆様には今後、このプログラムで学んだ知識、経験、アイデアを生かして、新たな農業の場で活躍していただければと願っております。

このような人材育成事業は、そのプログラムを修了すれば終わりというものではなく、その後、皆様お一人お一人が実際に就農し、農業で活躍されることが重要です。幸い、このニューファーマーサポートコースは当センターが実施している他の農業人材育成プログラムとも連携しています。これまでにプログラムの修了生が主体となってIT農業ネットワークを形成しておられ、現在、その会員数は580名を超えるほどになっております。そのなかには、この地域で活躍されておられる修了生や、新聞やテレビで度々、紹介されている修了生の方もおられます。こういった皆様の活躍が、当センターの人材育成事業の成果や評価であり、我々の今後の事業継続への励みにもなっております。皆様も、是非このIT農業ネットワークに参加していただき、多くの仲間を得ることで、益々、研鑽を積み重ね、これからの農業の世界で活躍いただけることを心より願っております。

最後に、今後の新型コロナウイルスの終焉、ならびに皆様の就農とご活躍を心より祈念して、私からの式辞とさせていただきます。